

四仏神の御朱印完成

仏法紹隆寺が授与始める



諏訪市四賀の仏法紹隆寺（岩崎宥全住職）は、同寺がまつる本尊の薬師如来や諏訪大明神本地仏の普賢菩薩など4体の仏様に、それぞれゆかりのある四神の靈獸「青龍、白虎、朱雀（鳳凰）、玄武（亀）」を重ねた4種類の御朱印をつくり、授与を始めた。

（日比野真由美）

四神は中国の神話で天の四節には「諏訪は四神が住む方をつかさどる靈獸。同寺の山号は「龜（亀）澤莊嚴山」、普賢菩薩は「辰（龍）・巳年の守り本尊」、観世音菩薩は安置する厨子に鳳凰柄があり、文殊菩薩は「獅子」に乗った姿で表わされる。また昨年、岩崎住職が約150年ぶりに復活させた「諏訪講之式」の4年がかりでそろえて授与を始めた四仏神の御朱印

節には「諏訪は四神が住む地」とのくだりがあった。こうした思いがけない一致に「運命」を感じて御朱印の製作を決め、2019年から4年がかりで三宝印を作り、今年ようやくそろった。それぞれの三宝印は朱肉の色を青、緑、赤と違えてデザイン性も美しく、完成を機に四仏神を一度に拝せる参拝記念の色紙も新たに作った。春の彼岸を前に岩崎住職は

「四神の図柄から諏訪の歴史にも思いをはせ、参拝の楽しみになれば」と話し、「御朱印は本来、写経を収めた証書として受けるもの。できることなら一度に一枚、四度お参りに来ていただけたらなおうれしい」と、参拝者のよりどころとなるお寺を目指している。授与料は一仏につき300円。色紙は2000円。問い合わせは同寺（電話0266・522・2241）へ。

0円。色紙は2000円。問い合わせは同寺（電話0266・522・2241）へ。